

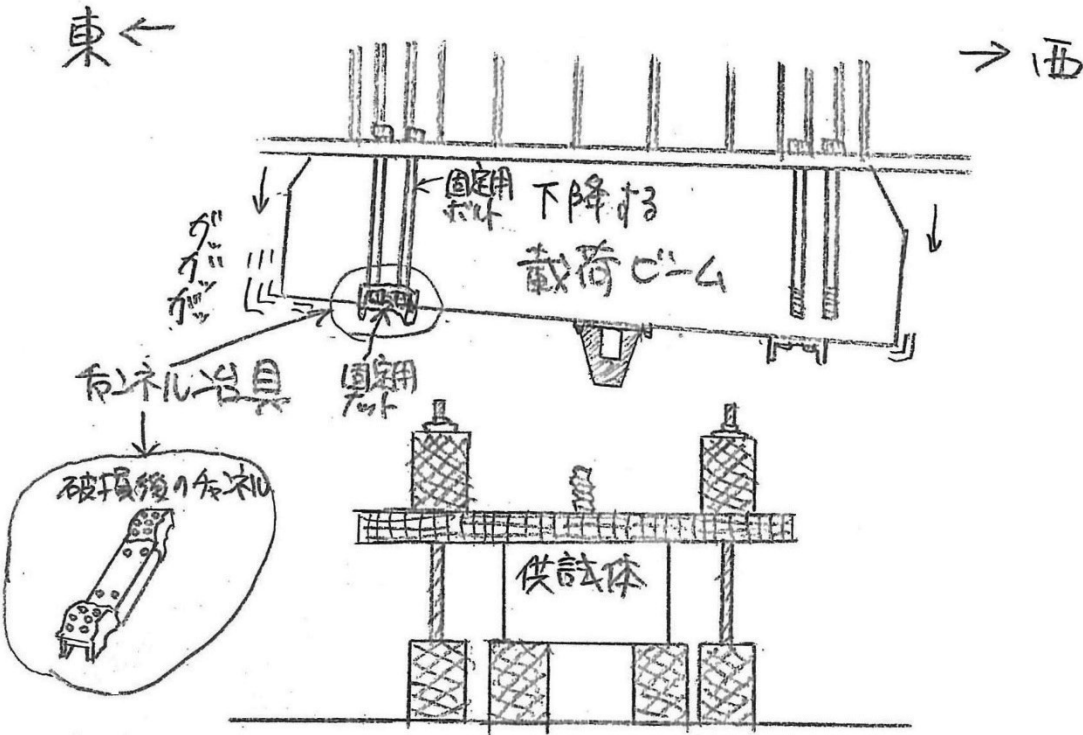
3.1 失敗例と改善策

毎年、いくつかの失敗の例が生じる。これは普通からいえば、隠したくなるが、失敗の事例は、あとから続くものにとっては非常に重要な教訓、情報となるので、あえて報告書に記録しておく。失敗の責任は実験の当事者、およびセンター長にある。

3.1.1 トラブル事例報告1： ナットランナーでのボルト締め作業時の負傷

3.1.2 トラブル事例報告2： 門型フレーム ビーム固定チャンネル治具のナット取り忘れによる
治具破損

<p>トラブル名 ナットランナーでのボルト締め作業時の負傷</p>			
<p>発生日時 2021年 5月 28日</p>	<p>発生場所・箇所 耐震実験センター2F 実験フロア</p>	<p>被災者 学部生</p>	<p>報告者 嶋口儀之</p>
<p>トラブル内容 (出来るだけ詳しくまた図示等を交え解り易く記入)</p> <p>学生がナットランナーを使用してボルトを緩める作業をしていたところ、ボルトにセットする際に近くにおいてあったボルトが作動トリガーに当たり、ナットランナーが意図せず動いたため反力受部分に指を挟んでしまった。</p> <p>少し動いただけだったが、中指を負傷した。</p>			
			
<p>被害状況 中指の打撲と切り傷</p>			
<p>原因 ゆるめたボルトを近くに置いて作業していたため、トリガーに接触してしまった。 ナットランナー自体が重いため、セット作業時の体勢によってはコントロールが難しい。</p>			
<p>対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ナットランナー作業時は、外したボルトを近くに置かずに作業周りをきれいにしておく。 2. 注意事項を保管場所等に掲示し、注意喚起する。 			

<p>トラブル名 門型フレーム ビーム固定チャンネル治具のナット取り忘れによる治具破損</p>			
<p>発生日時 2021 12/6 9:30頃</p>	<p>発生場所・箇所 北側 門型フレーム内</p>	<p>被災者 なし</p>	<p>報告者 鈴木博</p>
<p>トラブル内容 (出来るだけ詳しくまた図示等を交え解り易く記入)</p> <p>定着ナット・コンクリート引き抜き試験4日目の朝一、5から6体目にセット替えする時、載荷ビーム下降防止用のチャンネル東側治具のナットを取るのを忘れ、気付かずにビームを下降したため、チャンネル治具が破損してしまった。</p> 			
<p>被害状況 人的被害は無し、チャンネル治具の破損のみ。</p>			
<p>原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて行う実験での急造チームの為、作業分担がはっきりしていない。 ・日により作業者(学生)が変わるので、その都度役割が変わる。 			
<p>対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業固定者には門型フレーム内の作業を、実験責任者には載荷ビーム動作時に最終確認をお願いする。 2. 同様のトラブルが発生しないよう、チャンネル部付近にトラブル事例を掲示する。 			